

～～橋本小学校、動き始めました。～～

令和6年度がスタートして約2か月、学校運営はようやく軌道に乗ってきました。子どもたちは新しい学年にも慣れ、元気に学校生活を送っています。運動会が秋開催のため、今は確実に教育課程を進めていける時期です。各学年とも総合的な学習の時間や生活科の時間を利用し、学年間や地域との交流、そして自然や環境に目を向ける取組等を実施しています。そんな子どもたちに機会あるたびに伝えていきたいと思っていることを紹介します。

一つ目は「毎日少しずつの努力を積み重ねてほしい。」ということ。何か自分が毎日頑張れることを見つけてそれを続けてほしいと。どんなことでもいいので毎日続けられることを見つけ、それを実行し、粘り強くやりぬいてほしい。それが皆さんの大きな力となっていくはず。（「継続は力なり」）

二つ目は「仲間と励まし合ったり競い合ったりしながらお互いを磨き合い、力をつけ、できなかったことができるようになっていってほしい。」ということ。一人ではできないことも仲間と一緒に高め合える、自分の力をもっと伸ばせるんだと。（「切磋琢磨」）

そして橋本小学校の合言葉「はしもとあい」についてです。小学生の皆さんにとっては守らなければならない「合言葉」ですが、大人になるとこの合言葉の内容は「当たり前のこと」「常識」です。だから「はしもとあい」の内容を忘れず常に頭の中で意識しながら生活してほしいということ。

この三つのことを子どもに伝え続け、子どもの成長を後押ししていきたいと思っています。

★★★★★★縦割り班活動★★★★★★

今年度も月に1回を目安として縦割り班活動に取り組んでいます。各学年・クラスを12の班に分けて班編成をしています。担任や同級生とのかかわりだけでなく、この異年齢での活動は思わぬ子どもの力が発揮できる魅力があります。また子どものコミュニケーション力の向上や、教育目標にもある「心やさしく」の部分にもつながります。低学年の子にやさしく声をかけてやれる子、お世話を上手にしてくれる子、集団での行動が苦手でも声をかけてもらうことでずっと活動に参加できる子・・・など素敵な姿をたくさん発見できます。5月は顔合わせの会と新体力テストで活動しました。今後も計画的に活動していく予定です。

《新体力テストの様子》



★第1回学校運営協議会★

5月20日（月）に第1回学校運営協議会を開催しました。協議会は、保護司様（1名）、学識経験者様（1名）、民生委員代表様（1名）、共育コミュニティ本部コーディネーター様（1名）、橋本地区公民館長様（1名）、保護者代表様（1名）、図書ボランティア様（1名）、PTA会長様（1名）の8名の委員で構成されています。

学校運営協議会（コミュニティスクール）は、教育再生とふるさと創生を目指して、地域や保護者の方々に学校に関わっていただくと共に、学校も地域の活性化に寄与するための仕組みです。

第1回会議では、（市）教育委員会学校教育課の木下主任指導主事様をお招きし、コミュニティスクールの好事例を紹介しながら説明をしていただきました。また本年度の橋本小学校の学校運営の基本方針（前号にて紹介）を説明させていただき、委員の皆様にご承認いただきました。今年度の具体的な取組として、2年生以上の学年での音楽専科、理科専科・家庭科専科・外国語専科、6年生算数と国語で教科担任制を実施していること、児童数の多い低学年に対し教員複数名が授業に入る工夫をしていること、そして4・5月の子どもの様子等を紹介しました。学校・家庭そして地域がそれぞれ協力し合い様々な取組を実施していくことで、それぞれがいきいきと輝ける学校運営を実施していきたいと考えていることを説明し、協力をお願いをしました。今後も委員の皆様から率直なご意見をいただき、それを学校運営に生かしていければと考えています。



《橋小農園・橋小花壇》

南庭の農園では、今年も各学年の栽培学習が始まっています。アサガオ、ミニトマト、ひょうたん、へちま、ジャガイモ、キュウリ、トウモロコシなどを各学年で育てています。そして今年度は学校が大通りに面しているという立地条件を利用して、学校の栽培活動で咲かせた花を、通りを通行する方々に見てもらえたらと考えています。（まだ計画段階ですが・・・）農園や花壇の手入れは、校務員さんを中心にお手伝いをしていただいています。また学校には、子どもに直接かかわることは少ないですが、教員業務支援員、事務職員など、子どものために、子どもに見えないところで支えてくれている職員がいます。いつも感謝の気持ちを持ちたいですね。



◇◇◇◇◇◇◇◇中間食（補食）の実施◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

昨年度より全学年で牛乳による中間食（補食）をロング休憩に実施しています。今年度は年度当初から取り組んでいます。水分補給と栄養補給が主な目的です。このことで給食の時間まで空腹感少なく頑張れる児童が増えた、給食を食べる量が増えたなどの効果が出ています。（牛乳を飲めない子もその時間に水分補給をしています。）